

# コアコンピタンスをリデザインし、新領域での事業展開を加速！

会社名 株式会社木原製作所  
 所在地 山口県山口市秋穂西3106-1  
 従業員 70名  
 資本金 4,500万円  
 売上高 8億円(2022年8月期)  
 業 種 各種乾燥機/省力化機器/ハウス暖房機等の開発製造販売ほか



## 支援を受けるにあたって掲げた事業上の目標

### Before

- “農業用”への依存から“食品用”への転換を目指し、成長のための新たなビジネスモデルを確立させる。また、装置メーカーから総合的なサービス事業者へのステップアップを図っていく。

## 支援を受けてできるようになったこと

### After

- 事業課題を明確にし、事業計画を実現するための保有知財権の棚卸しを実施。事業・開発計画と連動した知財戦略の重要性を改めて認識。コアコンピタンスを今後の経営に積極的に活用していくための体制や仕組みを導入。受け身の契約から相手先に提案できるまでに組織能力の強化へつなげることができた。

## 今後の事業展開の展望

### Future

- 自社の強みを簡潔かつ最大限に表現するコアコンピタンス「湿度コントロール乾燥技術」を掲げ、この価値を具体化する製品開発を行い、ブランディングやマーケティング活動、知財対応を進めていく。
- 契約対応について適切に実施できる水準を獲得。社内規程等の整備の拡充へ展開させる。

## 加速的支援を受けた事業や商材



技術力に定評のある老舗乾燥機メーカーとしての実績と知名度を獲得している。

標準製品の他、オーダーメイド乾燥機の開発も多く手掛け、研究機関や大手食品メーカーへの特殊機納品実績を多数有している。葉たばこ乾燥機の市場でトップシェア、椎茸市場でも主要メーカーとしての地位を確立しており、農林水産から食品工業分野において独自の「湿度コントロール乾燥技術」を生かした新型高性能乾燥機や乾燥プログラム、機器メンテナンス等のソフト、サービスの事業拡大を目指している。

【出典】株式会社木原製作所ホームページ  
<https://www.kiharaworks.com/>



## 加速的支援を実施するにあたって整理した課題

取り組んだ課題	課題に取り組んだ背景・理由
ビジネスモデル、事業戦略の検討	乾燥食品の市場や競合の動向、他社技術の評価、自社の競争力、乾燥食品の価値の再確認が必要。“食品用”乾燥機への事業転換のためのビジネスモデル、事業戦略の検討が必要
ブランド・マーケティング戦略の検討	食品加工分野(野菜、果物)におけるソフト・サービスなどの新たなビジネスモデルに対応したブランド・マーケティング戦略の検討が必要
知財戦略の検討	ソフトやサービスを含む新たなビジネスモデルに対応した知財戦略のブラッシュアップが必要
契約等に関するケイパビリティの強化	大学や試験機関、ユーザーなど社外パートナーとの協働における知財権の取扱いなど、契約に関するケイパビリティの一層の強化が必要。ソフトやサービスに活用可能なデータの生成・取得・管理・共有・活用等(データ管理と契約)に関する検討が必要



## 加速的支援を通じて受けた支援と支援を通じてできるようになったこと

支援を受けた事項	支援を通じてできるようになったこと	活用専門家
経営デザインシート及びビジネスモデルキャンバス(BMC)による事業整理	<ul style="list-style-type: none"> <li>経営戦略の柱を再整理し、顧客目線での提供価値(研究開発の効率化、革新的な製品開発への期待、生産性向上によるコスト削減など)を重視する方針を設定。ビジネスモデルの整理と課題抽出のためのツール活用によりブラッシュアップにつなげた</li> </ul>	中小企業診断士 食品ブランド専門家
ブランド戦略・マーケティング戦略の策定	<ul style="list-style-type: none"> <li>ブランディング要素の収集・整理・抽出により、コアコンピタンスに掲げるフレーズ「湿度コントロール乾燥技術」を設定</li> <li>食市場の分析を行い、遡及させる手法・手段をターゲットに応じ選択していく</li> </ul>	中小企業診断士 食品ブランド専門家
既存特許の棚卸しと開発計画と知財対応の相関整理	<ul style="list-style-type: none"> <li>(主に特許の)棚卸しを通じた重要な権利の確認と今後の活用を見越した出願戦略の設定を行い、事業成長に有意な知財確保を実践していく</li> <li>ブランディングにおける商標出願の重要性を理解し、時宜を得た対応を実践する</li> </ul>	中小企業診断士
製造業における契約書の注意点理解、組織統制の手法高度化	<ul style="list-style-type: none"> <li>支援開始当初は契約関係の対応に苦慮されていたがポイントを押さえた対応ができるようになった</li> </ul>	弁護士 中小企業診断士

## 支援チーム紹介

主担当専門家: 中小企業診断士 田中 和男

活用専門家: 中小企業診断士、食品ブランド専門家、弁護士(2名)

知財総合支援窓口担当者: 山口県知財総合支援窓口 小柳 正

PO(プログラムオフィサー): 喜多 克己